

講演会 & 討論会

城の研究者3人が、国史跡・美濃金山城跡の見どころや楽しみ方について語ります



加藤理文



中井均

【第1部】午後1時～2時30分

講演会「城跡活用のススメ」

【第2部】午後2時45分～4時

討論会「城好きオヤジが語る
驚き満載！美濃金山城の魅力」

期 日 | 10月4日(日)

場 所 | 文化創造センター・アーラ

入 場 料 | 1,000円(全席自由)

チケッ ト | アーラインフォメーション、
販 売 | 人づくり課

販売開始 | 8月10日(月)

※お城の講演会です。落語はありません。

※乳幼児を連れての入場はご遠慮ください。

問 合 先 | 文化財課

お城の話がしたいから、
落語は無し！



春風亭昇太

落語家、落語界一の城郭研究者家。人気長寿番組「笑点」の大喜利レギュラーとして活躍中。

中学生の頃に城の魅力に取りつかれ、城巡りをスタート。現在も仕事で地方に出かけては城巡りをしている。

美濃金山城跡は、発掘調査によって礎石や瓦が出土し、どこにどんな建物があつたのかを理解しやすくなっています。さらに現地に行けば石垣の配置もわかります。在りし日の姿を想像する手掛かりが多いのが美濃金山城の魅力ですね。

ちなみに、僕が山城に登る時は足軽になって攻めるつもりで、下る時は守備側の気持ちになって歩きます。城の本質は戦いです。攻防を想像することで、城の仕組みを理解しやすくなるんです。

ウォーキングツアーでは、そんな楽しみ方もお伝えしますよ！

超
プレミアム
企画

ウォーキングツアー 「城好きオヤジと行く！美濃金山城」

城好きオヤジと、本物の美濃金山城を体験しよう

日 時 | 10月4日(日)
午前9時30分～11時

講 師 | 中井均、加藤理文、
春風亭昇太

定 員 | 20人(抽選)

参加料 | 無料

申込方法 | 郵便番号、住所、氏名、電話番号を記入し、はがきを
送付する(1人1通まで)

宛 先 | 〒509-0292
可児市広見一丁目1番地
可児市教育委員会文化財課

申込締切 | 9月4日(金)消印有効

問 合 先 | 文化財課

気分は領主

鉄壁の守り

魅せる権勢



金山城下から市内西端までを一望できます。戦国武将も眺めた高さから、領主気分景色を眺めませんか。



敵の進入路にもなる虎口(城の出入り口)。三方向を石垣に囲まれている形状で、門を破って侵入すると、守備側の攻撃に晒されます。



自然石を積み上げる「野面積み」で積み上げた石垣。400年前の当時は、木曾川河畔を通る人もその威容を眺めたことでしょう。

城好きオヤジが語る 驚き満載！美濃金山城の魅力



実は…

可児はお城の宝庫

可児市の各地に戦国時代の城跡があるのはご存じですか？
地域の皆さんが整備している今城跡や久々利城跡、そして美濃金山城跡など、市内にはおよそ10の城跡があります。

城といえば立派な天守閣を思い浮かべる人も多いと思いますが、天守閣を持たなかった城が出現するのは戦国時代後期から江戸時代で、その数はごくわずかです。多くの城は山城で、応仁の乱から続く戦乱の中で、地形を利用して築かれました。今回紹介する美濃金山城も山城です。

美濃金山城とは

美濃金山城とは、1537年に斎藤大納言正義によって兼山の古城山に築かれた城です。

当初、烏峰城と呼ばれたこの城は、織田信長が美濃に侵攻した際に家臣の森可成に与えられ、金山城と名を変えました。

森蘭丸も城主だった

以降、長可、蘭丸、忠政と森一族が城主となり、忠政の転封後に城が壊された。

れました。現在見ることが出来る石垣や建物を支える礎石は、森家が城主であった時代に築いたものです。

国史跡に指定

国史跡とは、国の歴史を語る上で、学術上価値が高いとされる貴重な遺跡のことです。

信長や豊臣秀吉が活躍した時代に築かれた城の特徴である「石垣」「礎石」「瓦」が良好な状態で残されていることが評価され、平成25年10月に県内5例目の国史跡に指定されました。

講演会&ウォーキングツアー

今年も美濃金山城跡の見どころを紹介する講演会を開催します。講師陣には、城郭研究者の中井均さん、加藤理文さんに加え、落語界一の城郭研究者・春風亭昇太さんが登場。

さらに、3人と美濃金山城跡を巡るウォーキングツアーも開催します。実際に遺構を見ながら間近で解説も聞ける、山城ファンにはたまらない企画です。

全国の城跡を見てきた3人が語る、美濃金山城跡の見どころと魅力。聞いて、行って楽しめるイベントに、ぜひご参加ください。
問合先 文化財課